

ゆうあい

ライオンズクラブ国際協会
335-B 地区広報誌

1R 田中 義秋

国際平和ポスター展の準備と開催に追われ、あっという間の1年でした。貢献度の低い1年でした。

2R 鈴木 亘

1年間地区委員としてとても良い経験をさせて頂きました。委員長はじめ各委員の方々に大変お世話になりました。ありがとうございます。

3R 佐藤 典子

ITの意味は分かっているつもりですが「MCって何?」と思いながら、第1回の委員会に出席しました。国際平和ポスターの選出、地区内での様々な行事を取材し、記事を書き、「ゆうあい」の発行。その中で、ライオンズクラブについているんな勉強をさせて頂きました。長いようで短い1年でした。

4R 井澤 秀郎

今期1年間、牲川委員長はじめ委員の皆さんにお世話になりありがとうございました。ITに疎い私で皆さんの邪魔にならないか心配でしたが、自分の原稿がゆうあいに掲載された時は、やはり嬉しかったです。事務局員さんも、大変ありがとうございました。また皆様に会える機会を楽しみに致しております。

5R 米田 弘樹

地区MC・IT委員は初めての委員でした。IT化が進んだとはいえまだまだスマートフォンに抵抗があるメンバーがたくさんおられました。根気よくグループラインを勤めて出来る方が増えたのは嬉しかったです。平和ポスターや取材など仕事が忙しいと感じましたが、楽しい時間でした。

6R 野村 生代

地区MC・IT委員としての1年間、楽しい時間を得ることができました。平和ポスター・カレンダーの制作は素晴らしいものとなったし、取材に行くことによって参加することのないセミナー等について知ることができました。十分にできたとは思いませんが、新しい経験と他のリジョンのライオンメンバーともつながることができたことに感謝しています。年次大会の準備等に参加できなかったことは残念ですが、本当にありがとうございました。

7R 半田 佳弘

1年間、地区委員を務めさせて頂き良い経験になりました。今後活かしていきたいと思っています。お世話になりました。

8R 米川 敏明

1年間、委員としてお世話になり色々今迄にない経験をさせて頂きました。地区内での知り合いも増え、これからのライオンズクラブ活動に活かしていければと思っています。

9R 松本 隆雄

今年のMC・IT委員会は例年以上の事業に取り組み、大変やりがいのあった委員会でした。その中で思ったほど活動できませんでしたが、当委員会が年次大会で地区ガバナー表彰の優秀委員会に選ばれたことを大変うれしく思っています。初めてのキャビネットでしたがこの一年大変いい経験をさせて頂きました。

10R 出羽 勝治

1年間、委員を務めさせて頂きましたが、委員の皆様にはお世話になるばかりで、地区委員として十分な仕事が出来なかったことが、悔やまれます。会長さんをはじめ、委員の皆様には感謝しています。

11R 森 弘樹

地区MC・IT委員になって、すぐにアラートによる岡山県真備町災害支援に参加させて頂き、現地の災害の復興支援に手がいっぱいMC・IT委員としての活動が全くできませんでした。国際平和ポスター・コンテストでは、今年は初めての試みとして入選作品によるカレンダー作りを行うことができ、大変好評で委員として良かったと思えました。最後に委員長、キャビネットの皆様、各リジョンの地区MC・IT委員の皆様大変お世話になりました。

12R 北辻 幾身

地区MC・IT委員として活躍の場は短い期間でしたが、感謝致します。現在、IT化が進みライオンズクラブの改革が問われており、今後の委員会の更なる発展を希望しております!!

MC・IT委員長 牲川 正次

本年度、新しい取り組みをいろいろとしましたが、LINEアカウント「Lions Club 335B通信」が思っている以上に稼働しませんでした。また、各セミナーの動画を地区のホームページで閲覧出来るようにと考えており、全セミナーの動画を撮影しましたが、編集が思っている以上に時間がかかり、パソコンの性能をアップする必要があり今年度は断念致しました。次期に引き継ぎさせて頂きます。1年間多くの方と出会い、多くの事を勉強させて頂きました事を心より感謝申し上げます。最後にご協力を賜りました皆様方に心より御礼申し上げます。



表紙「ライオンズの森」
犬鳴き峠のトンネル手前にある公園、通称「ライオンズの森」このライオンズの森は、那賀LCが定期的にベンチや落ち葉の清掃・木の枝打ち・ゴミ掃除をしています。車を停めてお弁当を食べたり景色を見たりする方が気持ちよく過ごせて、おススメスポットです。

発行者:地区ガバナー 吉村 弘吉
発行:ライオンズクラブ国際協会
335-B地区MC・IT委員会
編集者:委員長/牲川 正次
委員/田中 義秋・鈴木 亘・佐藤 典子
井澤 秀郎・米田 弘樹・野村 生代
半田 佳弘・米川 敏明・松本 隆雄
出羽 勝治・森 弘樹・北辻 幾身
事務局:〒541-0048 大阪市中央区瓦町4-4-8 瓦町4丁目ビル2F
TEL:06-6222-7331 FAX:06-6222-7336
ホームページ:<http://www.lc335b.gr.jp/>

335-B地区 おすすめのお店ご紹介

「麺処 まつ本」

豊中駅前西(駅から歩いて1分)



5R1Z 北摂ローズLCのL松本が経営している和食処です。創業1979年彼女はまだ大学生でした。とてもおいしい。「カツ丼」「わりこそば」は天下一品!!

【特集1】周年記念事業
【特集2】私のクラブ

- ◆北摂ローズLC
- ◆枚方中央LC
- ◆堺フェニックスLC
- ◆岸和田LC
- ◆和歌山くるしおLC
- ◆富田川LC
- ◆東大阪東LC
- ◆羽曳野LC

地区ガバナー 吉村 弘吉

地区メンバー各位に感謝!

長くて短い1年が終わろうとしています。私は335-B地区の地区ガバナーを拝命し、全力でこの1年駆け抜けて参りました。各ゾーンへの地区ガバナー公式訪問では身に余る歓迎を受け、感激致しました。その上各クラブの実状をお教え頂き、感動ある奉仕への道をご教示賜り、誠に有難うございました。また、各種委員会は地区ガバナースローガンに沿って、独創性を発揮するとともに、変革への道を進めて頂き、日本一の成果を上げて頂きました。

そして白浜での年次大会が、意義深く感動的なものになりました。これほど多数のメンバーが参加され、一般市民も巻き込んだ「ライオンズの夕べ」の大盛会は、和歌山県下のライオンズクラブに大きな誇りを与えて下さいました。大阪・和歌山が1つになっている証しでもあり、友愛と相互理解の精神が如何無く発揮されたと感じました。

私は改めて我が335-B地区は、類稀なる人材の宝庫であることを確信することができました。このような地区のガバナーを務めさせて頂きましたことは、我が人生の誉であります。そしてこの1年が、皆様の記憶に残るものでありましたら、望外の喜びであります。皆様の献身的なご支援ご協力に對しまして心より御礼申し上げ、感謝申し上げます。

イタリア・ミラノではL田中敏朗が地区ガバナーに就任され、会員増強への道標を示して頂けます。私たちの335-B地区発展のために私も微力ながら全力で尽くす所存です。

メンバー各位におかれましては、私以上のご支援を田中敏朗地区ガバナーエレクトに賜りますことをお願い致しまして、御礼の挨拶とさせていただきます。



キャビネット幹事 児玉 和久

キャビネット幹事を退任するに当たり、各クラブメンバーの皆様にお礼申し上げます。この1年間、吉村地区ガバナーをご支持頂き、「全ては「We Serve」の為に～変革にチャレンジ、そして前へ!～」の実現にお力添えを賜り誠にありがとうございました。

キャビネット幹事として至らないところや失敗も多々あり、悔いの残る部分もございますが、大過なく勤められたことは皆様のご協力とご理解のおかげであります。

地区ガバナー公式訪問では地区ガバナー方針についてお願いに始まり長時間説明に耳を傾けて頂き、何より白浜での年次大会では、多くのメンバーの皆様にご参加賜り、また、たくさんの

方から「大成功だったね」と声を掛けて頂きました。感謝の気持ちで一杯です。

今後はこの1年間の貴重な経験を活かして、いちライオンズメンバーとして奉仕活動に精進して参ります。皆様方からお寄せ頂いたご厚情に感謝申し上げ、335-B地区に集う各クラブの益々のご発展を祈念して退任の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



キャビネット会計 片山 博之

ライオンズメンバー、キャビネット事務局の皆様、一年間本当にありがとうございました。

ライオン歴も浅く経験も知識もない未熟な私がこのような重席を全うできました事はひとえに皆様方のおかげでございます。



ラスベガス国際大会、4回のキャビネット会議、各種委員会、複合地区の台湾友好訪問、地区ガバナー公式訪問、ライオンズ慰霊祭、等々嵐のような一年間のスケジュールでございました。特に白浜年次大会での経験は一生の思い出と個人的な宝となりました。

重ね重ね御礼を申し上げご挨拶とさせていただきます。



地区ガバナーエレクト 田中 敏朗

第65回地区年次大会にて、地区ガバナーエレクトにご信任を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度、吉村地区ガバナーを中心に地区役員・地区委員の活躍を目の当たりにして、近年にない素晴らしい団結力と行動力であったと感心している次第であります。わたくしもその求心力を以って、地区運営に尽力して参りたいと存じます。

さて、ライオンズクラブ国際協会は「LCIフオーワード」と「GAT(グローバルアクションチーム)」をより強化し、奉仕の世界を拡げていこうとしています。また、多様性を持つ事により、地区・クラブと地域を強化しようとしています。これらの方針を地区・クラブに取り入れ、更なる発展に努める所存でございます。

私たちは知性を高め、「We Serveの精神」と「L字の誇り」を持ち、理想高く、新しい時代のライオンズクラブを目指したいと思います。

日本一の会員数を誇り、輝かしい歴史と伝統ある335-B地区の運営を考えますと、身の引き締まる思いでございますが、身を粉にして職責を全うする覚悟です。

今年度、皆様から頂戴したご支援に感謝すると共に、引き続き次年度におかれましても皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。



次期第1副地区ガバナー 中谷 豊重

第65回地区年次大会において、次期第1副地区ガバナーの信任を頂きありがとうございました。

今年度、吉村地区ガバナーは「全ては「We Serve」の為に～変革にチャレンジ、そして前へ!～」のスローガンを掲げられ、LCIフオーワードの推進をはじめとする4つの基本方針を掲げられ素晴らしい成果をあげられました。

これは、メンバーが減少する中、一生懸命We Serveを実践されているクラブ、メンバーの皆様の活動の成果であると思えます。このことは、第2副地区ガバナーとして半分のリジョンを公式訪問させて頂いた時、各クラブの報告をお聞きし、ひしひしと伝わって参りました。

次年度、田中地区ガバナーエレクトは「未来に繋ぐ 汗と笑顔でWe Serve」をスローガンに、会員増強を一番に掲げられ、335-B地区を更に元気にしようとする目標を定められました。

田中地区ガバナーエレクトの陣頭指揮のもと、この目標を達成すべく汗をかき、335-B地区をいっそう盛り上げていく所存でございます。

今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を頂きご支援賜りますことをお願いし、挨拶とさせていただきます。



次期第2副地区ガバナー 正岡 章

先日の第65回地区年次大会代議員会では多くのご支持を頂き、感謝に堪えません。本当にありがとうございました。

今後は、私の考える「より良きクラブ作り」を目指して出来る限り多くのメンバーと胸襟を開いて語り合い、ライオンズクラブについて自らも更に勉強を重ねつつ、各クラブの現況を知り、何が必要かを一緒に対策を練り、共に実行して参りたいと思っております。

「奉仕は楽しく真剣に」快適で楽しく、メンバー各自が満足いく奉仕が出来るクラブが増えることによって会員も増え、

それが335-B地区の発展に繋がると考え、「獅子奮迅」全力を尽くす所存でございます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



1R

RC 齊藤 正実



リジョン内に7支部がありますので、今期後半に1Rで支部交流会を開催しようと思いましたが、3月に地区での支部交流会が開催されましたので、タイミングを逃してしまいました。来期にリジョン内で開催されることを期待しています。

3R

RC 金岡 弘和



会員増強についてはクラブ間の格差があります。増強の方法など、そのクラブの現況に応じたことを、もっとクラブに入らないと指導できないと思いました。解散や合併、また転籍などの促進が課題だと！クラブの改革、年号変化と共に！

5R

RC 奥村 一朗



私たち5Rより5人目の地区ガバナー(2Zより初)となる、次期第2副地区ガバナーにL正岡をご選出頂き、全ての335-B地区メンバーに感謝申し上げます。吉村地区ガバナー、素晴らしい白浜での年次大会有難うございました。感謝!!

7R

RC 辻川 孝之



「7Rは1つ」を合言葉に、今期も合同例会・ゴルフコンペに多数のメンバーが参加して頂きました。次期も是非継続頂きたいと思えます。若いメンバーも増えてきています、是非とも次期も若手の増員をお願い致します。

9R

RC 北野 博



地区ガバナー輩出リジョンのRCとして年次大会準備で多忙を極め、会員増強・クラブ活性化・糖尿病教育等、満足な取り組みが出来ませんでした。青少年向け奉仕の薬物乱用防止教室につきましては、一定の筋道をつけることができましたが、十分ではないと思っております。次期RC・ZCの活躍に期待します。

11R

RC 下農 達也



今期2クラブが解散に至った事は残念に思いますが、当初の目標であった里親会支援チャリティーコンペの開催、またラグビースクール交歓会支援チャリティーボウリング大会やライオンズ祭りを開催する事が出来、やり残したことはありません。

2R

RC 大橋 勝也



少人数クラブは会員の減少と高齢化から、新会員勧誘への切り口も見つからない状況の中、クラブ内に会員増強への諦め感が強かった。自立再生の力が無くなっているクラブに対し、クラブ統合等の生き残り策を提言出来なかった。その前提にもなる数クラブでの合同アクティビティ、またはリジョン及びゾーン合同アクティビティも提言出来なかった。

4R

RC 香月 千鶴子



会員増強については、どのクラブとも大変ご苦労されていたと感じました。アスク1のムーブをもっと大きく展開したかった、またリジョンとして会員増強に対するクラブの取り組みをサポートする仕組み作りが不十分であったことがやり残した大きな課題だと痛感しております。

6R

RC 平松 正幸



6R15クラブの合同アクティビティとして、ZC2名、15クラブの会長をはじめ各クラブ全員の協力のもと、初めての糖尿病セミナーを5月9日に実施しました。反省点もありますが、概ね成功したと思えます。

8R

RC 山下 良人



IT会議・IT講習会に挑戦して下さい。会員増強はまずキャビネット役員、GMT委員会がY/O率を把握してクラブ毎にサルベージをして優先順位を付けて策を講じて下さい。Y/O率はクラブの健康診断結果です。

10R

RC 浦 吉彦



IT会議・IT講習会に挑戦して下さい。会員増強はまずキャビネット役員、GMT委員会がY/O率を把握してクラブ毎にサルベージをして優先順位を付けて策を講じて下さい。Y/O率はクラブの健康診断結果です。

12R

RC 中野 貞雄



私は「12リジョンの伝統を守る」ということで、「活発ですばらしいアクティビティ」・「潤沢な会員数」・「LCIF貢献度の高さ」の三本柱の理念のもと、努めて参りました。自己採点するならば85点ぐらいでしょうか。特に会員増強に関しては思いを残す結果となってしまいました。

GST委員長 高橋 澄代



新しい有意義なアクティビティの企画や継続アクティビティの見直しに取り組み、5大フレームワークを軸とした奉仕活動で受益者数は10万人を超えることができました。ただ、世間一般にライオンズの活動があまり認知されていないため、もっとアピールできる事があったのではないかと、と思っています。次年度は、この点を取り入れて頂ければ幸いです。

FWT委員長 伊集院 峰子



クラブ支部づくりに力を注ぎましたが、理解を得るにはクラブに訪問させて頂くことが肝心だと思えました。クラブ訪問の時間をもっと取れなかったことが心残りです。支部は、今後のライオンズクラブのWe Serve!のキーワードになると考えております。

クラブ活性化委員長 高木 陽一



年度末を迎え、複数の伝統あるクラブが解散するとの報に接しました。共に活動してきた同志が去られるのは寂しい限りです。早期の情報収集、対応ができていればという後悔もあります。今後ともクラブ、地区の活性化に尽力できればと思います。

レオ委員長 森 範子



災害の多かった昨年、レオと共に駆け抜けた充実の1年となりました。若者たちはアイデアに溢れ、清々しく素直で真面目。愛媛県、岡山県真備へ数度の被災地入りを実現し、奉仕力と達成感を肌で感じる事が出来ました。いつも大声援し続けて下さった皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

ライオンズ慰霊委員長 成川 正樹



チーム吉村で1年間過ごし、周りの各種委員長の明るさ、元気を身近で感じ、再度「明るく、前へ」とすっかりその気になっております。好天気に恵まれた慰霊祭、委員長として与えられた任務の最低限のことしかできませんでした。その気にさせてくれた吉村丸のメンバーに感謝しながら…合掌。

GLT委員長 岡田 信次



いろいろありますが、メンティー・メンターのプログラムを地区GLT委員会で、研修して各クラブの新会員研修のプログラムにお役立て頂けるようなメンター・メンティー研修を十分に出来なかったことです。

LCIF・ライオンズクエスト委員長 松本 佳久



LCIFでは新たなキャンペーン、クラブシェアリングがスタートしまして、各クラブに周知を図るのに力を注ぎました。また、薬物乱用防止を含むライオンズクエストも引き続きご協力をお願い致します。

MC・IT委員長 牲川 正次



ゆうあいをPDFでのデジタル配信にして大幅にカットできた予算をソフト開発や各セミナーのLIVE放送などに活用させること。またパソコンも、文字→絵→写真→動画と年々容量が増えてきており、それに対する性能を上げること。そして、セキュリティの強化をする事が必須だと思えます。

環境保全委員長 北野 英治



今期最初に植樹「200本」という目標を発表して、期末には確認できた植樹が1174本となり目標は達成致しましたが、当初私の考えていた各クラブ1本の植樹をお願いするという目標が達成出来ませんでした。次期にしっかり引き継ぎたいと思います。

国際関係・大会参加委員長 加山 恵一



メインイベント「ミラノ国際大会」前で、今一番多忙の委員会ですが、今期の活動を思い出すと、大型台風の日グドラン会長公式訪問の受付をして大変だった事、複合地区で姉妹提携国「台湾」での非常に楽しかったエピソードや、毎月でも行きたいと望んだ複合地区での委員長会議等々、今のところ楽しさ一杯です。

GMT委員長 田中 信行



メンバー皆さんにもっと「アスク1」を言い続けて会員増強を推し進めたかった。そして会員増強を成し遂げた数多くの成功事例や方法の話をしたかった。会員増強はライオンズクラブの永遠のテーマです。

会則委員長 吉田 俊朗



各種セミナーを予定通り運営することができたが、会則の重要性の再認識につながったのか、やや不安である。ただ、ライオンズ必携の存続が決定したことで、会則委員会としては一安心。

YCE委員長 川口 武史



今年夏7・8月のために1年間準備してきた事をやり遂げる時がやって参りました。吉田335複合地区YCE・レオ委員長の言葉「YCE委員会は人様の命を預かっている」を胸に、最後まで気を引き締めて勤めようと誓うところです。最後までご協力宜しくお願い致します。

アラート委員長 西尾 良典



①地区全体での防災訓練(鶴見緑地公園で5月18日に予定したが事情により断念)②4大社協実務担当者と地区内各クラブとの大交流会(次期開催予定)③災害時に備えたSWATチーム409名の役割分担と研修セミナー

年次大会委員長 岩橋 達之助



年次大会代議員会及び式典を無事成功裏に終わることができ、メンバーの皆様方には、ご協力を賜り誠に有難う御座いました。今期地区ガバナースローガン「変革、そして前へ」のもとに行われた今大会がメンバーの皆様にはどのような風を受け止めているか気になるところであります。

335複合地区行事

335複合地区第65回年次大会

5月26日、ホテルニューオータニ大阪にて、335複合地区第65回年次大会が開催されました。冒頭の代議員総会では、7本の議案が採決されました。

記念講演は、京都大学大学院教授の藤井聡氏による講演『防災・減災による国土強靱化と近畿の未来』でした。災害大国に住む私たちには、武士道の精神が必要だとのお話、7つの教訓①「リーダー達」が何をなすべきなのか…その精神性、②人間はカネより尊い、③最悪の事態のイメージの不可欠性、④避難の不可欠性、⑤ソフト対策の重要性(リスク・コミュニケーション)、⑥震災復興にお



ける財政政策(防災減災ニューディール)の不可欠性、⑦堤防・ハード対策の抜本的有効性(命だけでなく資産を守る。つまり街を根こそぎ守るのが堤防)をお教え頂き大変貴重な講演でした。

晩餐会では、参加メンバーは500人程度で会場は一杯で身動きがとりにくいほどでしたが、皆さんお構いなしで楽しんでおられました。ピングゲームでも盛り上がり楽しい晩餐会となりました。



しかし、GMTにおいては入会者目標数1,000名に対し397名の入会。純増182名とまだ新会員入会「0クラブ」が47クラブ存在し、その対策が緊急課題とされました。また、LCIFの今年度地区目標80万ドルに対し現在81.2万ドルで100%達成はしていますが、まだキャンペーン100には正会員の半数に留まっており、限りなく努力が必要だと報告されました。

その他の議事においては国際理事立候補者推薦で335-B地区より2020年～2022年L城阪勝喜(大阪港LC所属)が承認され、また第2副地区ガバナー推薦規定に関する内規改定などの改革を発表されました。

各メンバーが6月末まで全力で活動する事を約束されキャビネット会議が終了しました。

地区行事

第3回キャビネット会議

2月25日、第3回キャビネット会議がホテル日航大阪にて開催されました。

吉村地区ガバナーが誕生して早7ヶ月が過ぎ、各委員会の活発な活動のもと、地区ガバナースローガンにある「変革にチャレンジ、そして前へ!」の通り、時代にあった変革を起こされていることが各委員会よりご報告がありました。GSTにおいては5大フレームワークの奉仕活動の結果として受益者数5万人に対し10万人に達する勢いで活動されており、GLTでは研修受講者目標が2,000名に対し現在2,729名と活発に活動され、またニューホープメンバーの登録数245名が活発に例会訪問する事によりクラブ活動も活発になってきております。

第4回キャビネット会議

地区MC・IT委員長 牲川 正次

6月3日、第4回キャビネット会議がホテル日航大阪で開催されました。

まず、吉村地区ガバナーより、今年度地区運営報告がなされ、今期の様々な活動が映像と共に報告されました。特に、今年度は各クラブが世界糖尿病デーのブルーライトアップ事業を実施し、またLCIFは目標額80万ドルを超える献金を達成でき、皆様に感謝をお伝えされました。

その後、各エリアリーダー、複合地区コーディネーター並びに委員長、各ゾーン・チェアパーソン、各リジョン・チェアパーソン、

各種委員長の報告がありました。どのリジョンにおいても会員増強に苦戦されながらもセミナーやアクティビティに力を入れられたことが報告されました。

最後は、田中地区ガバナーエレクトより「吉村地区ガバナーの築いた1年を受け継いでいく」との決意表明がありました。



クラブLCIFコーディネーター会議

地区MC・IT委員 野村 生代

3月18日、ホテル日航大阪においてクラブLCIFコーディネーター会議が開催されました。当地区では、LCIF目標80万を掲げていますが、会議当日には既に、92万6,000ドル達成していることを吉村地区ガバナーが嬉しそうに報告されました。

LCIFについては、復習をしながら、理解を深めていきました。

- ・「献金」が「寄付金」という言葉に変更
- ・ライオンズクラブ国際協会設立 100周年を祝い 100%全メンバーが一人当たり100ドルの寄付を毎年行う



- ・クラブが無指定で会計年度内に5,000ドル以上の金額をLCIFに寄付すると、その15%が申請すると交付されます→「クラブシェアリング」
 - ・これまでLCIF交付金ではできなかった事業が「クラブシェアリング交付金」を使うことによってほとんど可能になる。
 - ・小さいクラブなどがクラブシェアリングによって、奉仕活動がしやすくなる。
- 上記のことに対して理解を深めていくことができ、更に奉仕活動に広がりが出たのではないかと、思いました。

薬物乱用防止認定講師養成講座

地区MC・IT委員長 牲川 正次

2月27日、ホテル日航大阪に於いて薬物乱用防止教育認定講師養成講座が開催されました。当日は150名の参加を頂き、新規受講者88名、更新受講者42名、ゴールド受講者20名と、新規受講者が多くみられ、新たに88名の講師とされた皆さまが各地において薬物乱用防止教室を開催される事を願います。

当日は、ビデオ講座として医学博士万本盛三(土浦環LC)の「医学知識」。その後専門講座として大阪府警察本部刑事部薬物対策課の警部補 菅竜之介氏より「薬物犯罪の現状」を講演して頂き、また大阪府健康医療部薬務課の主査 砂川奈芳子氏から「大阪府における薬物乱用防止啓発について」講演頂きました。



最後に実践講座として、泉佐野中央LC泉州南なでしこ支部が薬物乱用防止活動の実践を発表され、最後に那賀LCが15年間に亘り毎年10校以上の小中学校・高校に対し薬物乱用防止教室を開催され、その実績において楠GLTコーディネーター・次世代リーダー育成委員長が参加メンバーを対象に薬物乱用防止教室を開催して頂きました。

一人のメンバーが多くの青少年に薬物乱用の危険を伝えていかなければならない事の責任を担って下さい。この世から危険薬物がなくなる事を願います。

第44回物故ライオンズ慰霊祭

地区MC・IT委員 松本 隆雄

5月12日、高野山大霊園物故ライオンズ慰霊祭前に於いて第44回物故ライオンズ慰霊祭がしめやかに執り行われました。今回は昨年と違い、素晴らしい晴天の中行われ尺八納奏の中、成川ライオンズ慰霊委員長の祭式の詞に始まり吉村地区ガバナー、田中地区ガバナーエレクト、ご遺族代表の御坊LCの岡本宏之様による拝礼、そして、物故ライオン78名のご奉名を刻んだ刻銘版奉納が行われ、物故ライオン・ご遺族284名のご参列者の献花が行われ無事慰霊祭が終了しました。



各クラブ会則委員長研修会

取材：地区MC・IT委員 米田 弘樹
地区MC・IT委員 北辻 幾身

1月29日、ホテル日航大阪に於いて各クラブ会則委員長研修会が開催されました。

クラブより会則担当委員長167名の参加を頂き、竹内キャビネット委員による司会で始まりしました。

まず、吉田会則委員長よりライオンズ必携第58版の主な改訂箇所一覧表、国際理事会方針書について説明がありました。どのようにして会則が決まっているか、それがクラブへ発信されるまでの仕組みがよく分かりました。

求める奉仕活動」についてパワーポイントを使って説明されました。「一般社団法人 日本ライオンズについて」の説明もあり今後のライオンズクラブがどのように変化し地域社会に活かされるのか、また川野335複合地区GLTコーディネーターよりシカゴ国際本部からのDVD報告がありました。

より良い運営ができ、奉仕活動が活発に行なえるようにご協力を宜しくお願いします



ライオンズアカデミー

第7期生 第7回・第8期生 第3回 合同

地区MC・IT委員 森 弘樹

3月29日、ホテル日航大阪にて開催されました。

まずL楠による開会の挨拶に始まり、吉村地区ガバナー、柿原335複合地区ガバナー協議会議長・前地区ガバナー・名誉顧問協議長が挨拶されました。

続いて、石垣島の八重山LC所属の識名337複合地区ガバナー協議会議長による「日本最南端のライオンズクラブから見た全日本のライオンズクラブに期待する事」という題材で講演して頂きました。講演では、日本最南端のライオンズクラブで数々の奉仕活動



をされていて、どこの地域にいても、「その地域においてライオンズクラブとしての地域奉仕は出来る」とお話をされていました。

グループディスカッションでは「10年後もライオンズクラブが活発であるために今何をすべきか?」という題材で数名のグループに分かれて色々な案を出され、プレゼンテーションされていました。

最後に川野335複合地区GLTコーディネーターによる総括と田中第1副地区ガバナーの閉会の挨拶で終了しました。

新会員スクール

和歌山

[8~10R]

1月25日、ホテルグランヴィア和歌山にてライオンズクラブに入会3年未満



のメンバーを対象にした8~10R新会員スクールが開催されました。新会員46名が参加のもと、はじめに吉村地区ガバナーが「ライオンズの歴史」を話され、入会時に横文字ばかりで戸惑った体験談をなされ「今日来られている皆様が何年後かに地区を背負って下さい」と激励されました。

講演では、楠GLTコーディネーター・次世代リーダー育成委員長が「ライオンズクラブ国際協会と地域」について歴史とヘレンケラーや白い杖の話がされました。一同初めて聞く内容に真剣に耳を傾けていました。次に岡田GLT委員長が「地区及び奉仕の原点」について世界のメンバー数やクラブ数、また日本の地区について事細かく話され、その後当地区で活発に行なわれているアクティビティの紹介がされました。最後に吉田会則委員長が「ライオンズの会則と用語」について「横文字ばかりでわかりにくいと思いますが、必携を読んで慣れて下さい」と言われ国際会則の説明がされました。

質疑応答では、岡田GLT委員長が新会員のメンバーにクイズを出し回答して頂き、和気あいあいな雰囲気です。皆様真剣に聞いておられ、身のある1日になったと思います。

地区MC・IT委員 野村 生代

2月1日、ホテル日航大阪に於いて新会員スクールが100人を超える出席者で開催されました。講演者の皆さんの熱い思いが伝わってきました。

新会員3人にインタビューを行いました。

- 1)ライオンズクラブに入った理由は?
- 2)クラブに入って楽しいことは?
- 3)新会員スクールの感想orLCに期待することは?

大阪



○2R1Z大阪島之内LC L間屋口真也(2018年7月入会)

- 1)自社社長の入会をきっかけに、お誘いを受けて…
- 2)色々な業種の方々と活動やゴルフなどで交流できること
- 3)海外のLCの方々と交流してみたいです。



○11R2Z東大阪布施LC L日吉啓子(2018年7月入会)

- 1)ボランティア活動が好きで興味があるので、少しでもお役に立てればいいなあと、学校の先輩に誘われて
- 2)色々な方々と出逢えたこと。お話ができて勉強になったこと。みんなで奉仕活動すること。美味しいものを頂いて友情を深めあうこと。
- 3)歴史も学べ、未来への展望ワクワクです。世界中の子どもたちが、教育が受けることができることを望みます。私の願いであり、夢です。



○6R2Z枚方中央LC L村岡勲(2018年6月入会)

- 1)地域に奉仕活動を通じてお礼がしたい。
- 2)年齢・性別を問わず、同じ“志”を持った方々と時間を共有できること
- 3)LC新世紀の行動計画が良く理解できました。2025年大阪万博時、大阪のクラブが一丸となり大きな奉仕活動をしたい。世界各国の人々に奉仕の理念を!

クラブ支部交流会

地区MC・IT委員長 牲川 正次

3月2日、クラブ支部交流会が開催されました。当地区には現在20のクラブ支部、支部会員数141名と支部の活動が活発になってきていることから、横のつながりを深めようということで今回企画されました。

まず、伊集院FWT委員長がクラブ支部作りについて講演されました。その後事例発表として、大阪梅田中央LC菜の花支部 竹ノ内会長より、活発に活動しており、中でも楽しく活動している事が継続出来る秘訣だと報告がありました。続いて、大阪福島LCわかふじ支部 西口会長による「支部会員増強対策」について、枚方シニアLCひまわり支部会長 藤原千

佳子による「支部奉仕活動」では、ひまわり支部は看護師が集まって結成された支部で、これから糖尿病に関する活動を活発にしていけると報告がありました。

事例発表の後、10テーブルに分かれてワークショップが開催され、活発な議論がなされておりました。

支部会員のパワフルな活動、また違った視点からの奉仕活動、女性だからこそできる奉仕と支部の必要性を痛感する交流会でした。



第7期生 第8回

取材：地区MC・IT委員 井澤 秀郎
地区MC・IT委員 森 弘樹

5月13日、ホテル日航大阪に於きまして第8回ライオンズアカデミーが開催されました。

まず吉村地区ガバナーより、今期「ライオンズアカデミー」と名称を変えた理由の説明があり、このアカデミーの受講生は将来、地区を引っ張って頂ける方々であると挨拶されました。2年間の振り返りとして高木クラブ活性化委員長、田中GMT委員長、L楠が2年間におけるセミナー内容、また時代に合ったアクティビティが必要で、時代のニーズを捉えることが必要であると話されました。

次に受講者たちより「素晴らしい2年間のセミナーであった。」「自分のすべき事ははっきり分かった」などの自信に満ちたスピーチが

あり2年間におけるこのライオンズアカデミーの感想等をそれぞれの言葉で話されていました。

閉講式では、L吉村よりLCIフォワードの進め方について熱く語られた後、修了証並びに記念品の授与、皆勤賞の授与が行われて受講者代表として串本LCのL小森が挨拶されました。

最後に総論をL楠、修了の挨拶を田中地区ガバナーエレクトが話されて2年間における第7期生ライオンズアカデミーが終了しました。

感想としましては、ライオンズアカデミーの効果なのか第7期生皆様仲良く、リジョン、ゾーン、クラブを超えてまた別の団結力が出来ているようで大変素晴らしいことだと思いました。

第8期生 第4回

取材：地区MC・IT委員 佐藤 典子
地区MC・IT委員 半田 佳弘

第4回は受講生にとって、折り返し点となるアカデミーです。

まず、田中GMT委員長による「10年後もクラブが活発に活動するために今何をすべきか。」「アスク1による会員増強、会員維持は大切です。また、奉仕賛同者を得る、奉仕受益者の喜びを得ることも大事。まず、メンバー同士のコミュニケーションが大切です。口に出さないと人には伝わりません。情報の共有・意志疎通を念頭に、将来を見据えて335-B地区を盛り上げて下さい」とのお話でした。

次に、吉田会則委員長より、会則研修。世界と日本のライオンズクラブのあり方の違いから始まり、丁寧に会則を説明されました。まとめの言葉として、「生き残る組織」として、3つの事柄を挙げられました。「変化に対応できたものが、生き残る」「1つの事業では寿命は30年」「楽しく活動が続ける言葉「ハイ、喜んで」「好きでやっていますから」」。メンバーとしては心に留めておきたい言葉でした。

1年間の振り返りとして、L楠が、LCIフォワードの説明がされました。これからの100年持続可能な変革を進めていくためのものが、LCIフォワード。アイスブレイクとして、組織の仲間が1つとなって、いろいろ考えながらゲームに勝つというチームビルディングを行な

いました。課題は「A4の用紙20枚のみでできるだけ高い塔を作る」というものでした。リーダーを決め、3分間でどういう塔を作るのか作戦を練る。5分間で塔を作る。最終は、なぜ勝ったのか、なぜ負けたのかを、発表しました。PDCAには、プラスA(award)として達成感も必要かと思われるというお話が心に残りました。

続いて会則クイズが行なわれました。今日の話きちん覚えていたら全問正解とのことでしたが、なかなか手強く、正解の数に恥じてご褒美としてクッキーを頂きました。最後のL楠からの総評では「LCIフォワードを進めていくにあたって、質も大切だが、数も避けて通れないこと。田中地区ガバナーエレクトが1,300名増員という目標を立てられました。アスク1をすることによって、1,300名は不可能な数ではない。準備理事会でメンバーと情報共有し、正しい結果を求めて下さい。次期1年、後半頑張っている思い出を作して下さい」という締めくくりで閉会となりました。



CN周年記念

枚方LC CN60周年

10月6日、枚方LCはリーガロイヤルホテル大阪にてCN60周年記念式典・祝宴を開催致しました。記念事業として、枚方カントリー倶楽部にて宮城県松島支援・チャリティーゴルフ

大会開催、枚方市総合文化芸術センターモニュメント寄贈、意賀美神社の梅林園整備ならびに記念植樹、東日本大震災復興支援プロジェクトとして拡声機を寄贈致しました。



紀伊田辺LC CN60周年

紀伊田辺LCは今年度60周年を迎え、4つの部会を立ち上げて活動してきました。その中で最初に行なわれた、記念事業『歌舞伎舞踊公演』について紹介したいと思います。2018年10月11日、紀南文化会館(和歌山県田辺市)で午前の部と午後

2階席には、午前の部は地元の中学生、午後の部は高校生を招待して伝統ある歌舞伎舞踊公演を堪能して頂きました。

当クラブは地域との結びつきを大切に考え、会長スローガンでもあります『結成60年 初心に戻ってWe Serve』の精神のもと、更なる高みを目指して邁進したいと思います。



大阪阿倍野LC CN55周年

9月26日、ザ リッツカールトン大阪に於いて大阪阿倍野LCのCN55記念例会が開催されました。大阪市阿倍野区長、大阪市立文の里中学校校長、阿倍野区内小学校代表、川野335複合地区GLTコーディネーター、他地区役員、地区委員、ファミリークラブ、ブラザークラブと多くの方々のご出席されました。

式典は小島会長の開会宣言・ゴングで始まり来賓の祝辞、古本地区YCE委員よりYCE受け入れホスト家庭に感謝状の贈呈、記念事業の発表、感謝状の拝受がありました。

第2部の祝宴では、大阪市立文の里中学校吹奏楽部の生徒さん達の素晴らしいマーチングが披露されました。



大阪西淀LC CN55周年

当クラブは、CN55周年記念事業として、①地域課題に取り組む活動を支援し、西淀川区を活性化する。②特に公的な助成を受けることが難しい活動を助成することで、区内の地域活動の幅を広げる。の2点を目的に、西淀川区内の地域課題解決に向けた取り組みを支援する「元気づくり応援事業」を初めて実施しました。

西淀川区区内全般に周知をかけたところ、結果、助成金総額55万円に対し、応募総数23件、応募総額

2,761,080円と、助成総額の5倍以上の応募があり、「外国にルーツを持つ子ども達の学習支援に使う教材を購入したい」「子ども達の健全育成のためにサッカーゴールを購入したい」「野良猫の命を救いたい」など、多様な課題に取り組む団体の存在が、活動資金に困っている実態が明らかになりました。これら応募23件について、会員により①必要性、②有効性、③新規性を採点基準として第1次選考会(書類審査)を行い、11件

の入賞者を決定しました。また、第2次選考会では、応募者をはじめ広く区民に呼びかけ、西淀川区長にも審査員に加わって頂き、公開プレゼンテーション審査を行いました。

この事業を実施した事により①西淀川区の活性化、②地域活動の輪の拡大、③大阪西淀LCの活動の周知という3つの目的が今回の事業により期待以上に大きく達成されたと考えております。また、今後、サポートが必要な課題が多くある事を再認識することができました。



大阪島之内LC CN50周年

7月21日、2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催されるのに先立ち、当クラブCN50周年記念事業として、大阪市障がい者福祉スポーツ協会を通じ、大阪市舞洲障がい者スポーツセンター「アミティ舞洲」へ子ども卓球台とマシン&トレーニングボール一式を寄贈致しました。贈呈式を行い、パラリンピックを目指し

ているアスリートの方々とも交流し、世界での活躍とパラリンピック出場の激励を致しました。

子どもの卓球台は大阪市に何度も申請しているが予算面から見送られていたとの事で、施設の方にはもちろん、利用する子ども達・大人達にも大変喜ばれ、大いに活用されております。



藤井寺LC CN50周年

藤井寺LCはCN50周年記念事業として、11月4日『世界糖尿病デー・イン藤井寺講演会』を開催しました。

糖尿病は『酒飲み・甘いもの大好き』などのイメージがあり、また療養は『面倒くさい・長続きしない』など手掛かりがほしいと思っている方が多い。そこで私達はいかに楽しく学べてたくさんの方々に足を運んで頂けるか、半年以上かけて先生方や

関係者と講演構成・演出・会場・設営・チラシ構成・寸劇など打ち合わせを何度も行き準備を進めてきました。

当日の講演会は終始なごやかな雰囲気です。寸劇での笑いや無料血糖値測定など一般市民の方々から『ためになった』『楽しかった』との声をたくさん聞く事ができ、藤井寺市を巻き込んだこの記念事業を実施して本当によかったと思っています。



CN周年記念

泉南中央LC CN50周年

4月7日、泉南中央LCがCN50周年の記念式典を関空スターゲートホテルにおいて、開催しました。当日は泉南市長、地区ガバナーをはじめ多くのご来賓にご出席いただき、厳かに式典が終了しました。その後会場を53階

に移し、関空をはじめ、すばらしい眺望の中楽しい祝宴が始まりました。CN50周年記念アクティビティとして台風21号災害チャリティ親子釣り大会を開催し、泉南市に災害義援金として贈呈しました。



大東LC CN50周年

3月20日、大東LC CN50周年記念式典にて、LC1フォワードにも入っている糖尿病予防啓発も含め『糖尿病にならないための処方箋』という演題で、講師に恵生会病院 宮川潤一郎院長をお迎えし記念講演して頂きました。

記念アクティビティ
 《四條畷神社へ 手水舎再建奉賛》
 台風21号により、昨年9月4日、強風で社務所北側の檜の原木が手水舎に倒れ柱が壊れた。
 《四條畷市へ 電動式自転車2台寄贈》
 各課の職員が市民宅へ訪問時に使用できるものとして。(山間部も多いので)



《大東市公立保育園にベビーカー3台寄贈》
 1歳から3歳まで使える避難車兼用のおさんぽカー。(4~6人乗り)

これからもメンバー丸となり、原点に戻り地域に目を向けた奉仕活動を続けていきたいと思います。

泉佐野中央LC CN50周年

3月23日、泉佐野中央LCがCN50周年の記念式典を関空スターゲートホテルに於いて盛大に挙行されました。当日は泉州南なでしこ支部による薬物乱用防止啓発活動の寸劇やアトラクション等大変盛り上がりしました。

本年度のアクティビティは 青少年健全育成を柱に行いました。日頃より青少年健全育成のためにご尽力をされている団体の皆様にも少しでも運営の一助となれることを願い、活動に伴う道具や運営費などを寄贈させて頂きました。



大阪すみのえLC CN48周年

5月21日、住吉大社 吉祥殿で大阪すみのえLC CN48周年記念例会があり、姉妹提携クラブの台湾にある永和獅子会より会長をはじめ、メンバーとLL 16名の参加がありました。大阪すみのえLCの周年行事は姉妹提携クラブとメンバーどうしの交流が

たくさんあるそうです。アトラクションは、住之江区の新北島中学校吹奏楽による、素敵なジャズの演奏がありました、演奏の時は生徒の保護者の方々にも会場に入って鑑賞頂きました。素晴らしい記念式典でした。



和歌山中央LC CN40周年

今年度のクラブスローガンは「輝く未来づくりへ We Serve」としました。CN40周年を機会として「社会に明るい未来をもたらす」青少年の健全育成の様々な取り組みを共有し、従来の取り組みに加え、クラブとしてどんな新しい継続的な青少年教育の

アクティビティに取り組んでいくのかを模索しました。そして、和歌山市少年メッセージへの協賛、ボーイスカウト活動への支援、和歌山県立盲学校創立100周年記念の校旗の贈呈を記念アクティビティとしました。



八尾菊花LC CN40周年

八尾菊花LC CN40周年記念式典が、執り行われました。40年の歩みを映像にてご臨席の皆様にご紹介させて頂き、チャーターメンバーの入場により始まり、古川会長より開会宣言とゴングにて開始、物故ライオンズへの黙祷を行ないました。ご来賓を代表され、吉村地区ガバナー、城阪GLT日本エリアリーダーからご祝辞を賜り、スポンサークラブの八尾中央LC中井会長に記念品の贈呈と御祝辞を賜りました。

記念事業の発表は山本GST委員長より行なわせて頂き、交通安全協会講習ビデオ寄贈事業、企業献血と八尾駅での献血事業、常設献血ルーム設置決定の報告、史跡道標マップと弓削道鏡ゆかりの道標案内板設置事業、子ども餅つき、子ども食堂支援事業、1型糖尿病大阪杉の子会支援事業、小学校への図書寄贈事業、小学校なわとび検定事業の報告をさせて頂きました。



続いて、在籍40年、皆出席のL北村の表彰で無事式典を締め括る事ができました。

四條畷中央LC CN35周年

「顧みて、明日を思う」という水平思考をコンセプトにスタートした今期、平成時代最後の4月となる11日、そしてその20日後には新元号「令和」時代を迎えるとばかりに立って「CN35周年記念例会」を開催しました。当日は四條畷市長、教育長をはじめ11リジョン内ブラザークラブから多数ご臨席頂き、我が国の大きな歴史的転換期に立ち会える緊張感の中で、記憶にも記録にも残る記念例会になりました。

観点から、新時代を担ってくれる子ども達の教育面、情操面に有効に生かしてもらえよう、四條畷市内小・中学校10校にテント10張り、子ども達を主役にしたお稚児さんや武者行列で町おこしイベントとして定着した「第15回楠公まつり」に、祭り用法被105着と横断幕1張り、四條畷警察署に青少年の防犯活動に成果を挙げられるよう期待を込めてコンピューターによる可動式電光表示機1基をそれぞれ贈呈しました。新時代への転換を機に時代の要請をしっかり受け止められる若いデジタル世代のメンバーを中心に



我々アナログ世代がその後押しをする形で、新たな歴史の創造にウィ・サーブの精神を更に高めるために、その第一歩を踏み出したところです。

CN周年記念

岩出LC CN30周年

11月8日、岩出LC CN30周年記念式典は、会長テーマの【地元をねざした We Serve】に沿って移築された旧和歌山県会議事堂(一乗閣)重要文化財で挙行されました。自分達で椅子や机を並べ色々なセッティングを行ないました。多々皆様にはご不便をおかけしましたが、とても素晴らしい会場でできた事を嬉しく思います。

アクティビティとしてはスポンサーをした和歌山くろしおLCと合同で5年かけて根来の五百仏山に100本のエドヒガン桜・400本の山桜を植樹しました。

地元の防災用発電機3台寄贈、地域防災センターキャラクター2体付パネル、地域福祉事業資金、9R2Zのチャリティーコンペで協力頂いた資金で和歌山赤十字



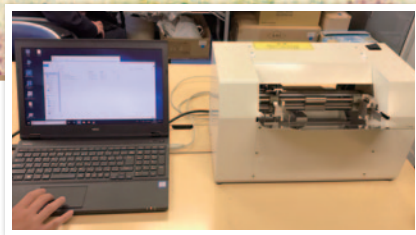
血液センターへ赤外線オイルヒーターを寄贈致しました。

岩出LCの記念品として岩出の伝統工芸品である「根来塗のお箸」を皆様に用意致しました。そして塗師 伊藤恵さんに根来塗の素晴らしさを語ってもらいました。

堺泉北LC 結成30周年

元号が令和に改元する直前の4月27日、我がクラブの結成30周年記念式典をホテル・アゴーラリージェンシー堺にて挙行致しました。姉妹提携をしている韓国釜山九徳LCとの交流も10年振りに復活し、式典に招待し、また5月7日には釜山九徳LCの創立に訪韓し式典に参加しました。

30周年記念アクティビティは、①大阪府立堺支援学校へ放課後支援アクティビティとして生徒や保護者の送迎の雨風を避ける工夫の「渡り廊下の設置工事」そして「防災用品倉庫」「自転車置き場」寄贈致しました。②堺市視覚障がい者福祉協会へ、機能性や操作性も古くなり使いづらくなった「点字プリンター」及び



「関連機材」の寄贈を行ないました。両方の寄贈先からとても喜んで頂き、感謝状を30周年式典で頂きました。

これから新元号となり我々クラブも初心に帰りメンバーが力を合わせ、社会奉仕に会員増強に励んでいきたいです。

茨木ハーモニーLC CN20周年

3月17日に茨木ハーモニーLCはホテル阪急エキスポパークにて、CN20周年記念式典を開催致しました。

式典には茨木市長 福岡洋一様はじめ各界のご代表様、田中第1副地区ガバナー、地区役員の皆様、スポンサークラブ、ブラザークラブ、友好クラブ、332-C地区(宮城県)佐藤元地区ガバナー・名誉顧問、蔵王LC・仙台高砂LCの皆様も遠路お越し頂き、盛大に開催することが出来ました。この式典の企画から準備まで、少ないメンバーで、1年以上の月日をかけて準備してきました。このように心温まる式典にできましたことに、皆様のご協力や温かいお気持ちに感謝しかありません。

我がクラブは1999年3月21日に茨木LCと摂津LCのスポンサーにより誕生し、「We

Serve」の精神を女性の視点から地域社会に密着した、奉仕活動を展開することを思って、活動を展開して参りました。祝宴オープニングでは、交流させて頂いている「救世軍希望館」の子ども達によるブラスバンド演奏から始まり、子ども達の可愛い、素敵な演奏に大きな拍手が送られました。20周年記念の「祝花」の挿花を我がライオンズクラブのメンバーであるL土畑純子が、津軽三味線の徳田恵美様とのコラボレーションで、華やかな舞台を見せて頂きました。それら20周年を祝う様々な発表を皆様と共に体験できました時間は私たちメンバーにとって何よりのお祝いとなりました。

昨年4月に茨木すみれ支部を結成しました。今までの、子クラブとしての立場から親ク



ラブの立場となり、みんなで嬉しく楽しく共に育っていきたく願って活動を進めています。これからも、地域での活動には子ども達の未来を支える視点、子ども達の未来を輝かせることのできる奉仕を続けながら、25周年・30周年を迎えられるよう歩んでいきたいと思っております。記念式典や記念事業チャリティーゴルフなど準備期間からお世話になった皆様に心より感謝申し上げます。これからも皆様とともに支え合いながら活動していきたい、思いを新たに致しました。

大阪コスモスLC CN20周年

記念事業

12月4日、大阪コスモスLCはCN20記念事業として、LCIF事業「社会福祉法人 ヘレンケラー財団へ車椅子車両の贈呈」をされました。当クラブは15年前に、CN5記念事業でも車両を贈呈されていて、その車も現役で活躍しています。

贈呈式では、北畑LCIF副エリアリーダー、佐野LCIFキャンペーン100コーディネーターよりお祝いの言葉を頂き、ヘレンケラー財団執行理事 松岡徹様へ、目録とキーの贈呈が行なわれました。

贈呈式が終わると、施設の3階に於いて大阪コスモスLCメンバーより施設の皆さんに抹茶の接待が行なわれました。皆さんは笑顔いっぱい、お茶を楽しんでおられました。

素晴らしいアクティビティでした。



記念式典

5月18日、大阪コスモスLC CN20記念式典が開催されました。場所は、中之島の川の上にある素敵なレストラン「Sumile OSAKA中之島」にて行われました。一般来賓に、大阪市阿倍野区長、寶田啓行様、社会法人 日本ヘレンケラー財団 執行理事 松岡 徹様はじめ7名のご来賓、ライオンズ関係では、吉村地区ガバナー、正岡次期第2副ガバナー、北畑LCIF副エリアリーダー等多くの地区役員、4R1Z・2Z各クラブ

会長、幹事をはじめスポンサークラブである大阪阿倍野LCより10名ものメンバーに参加して頂きました。L勝田よしみの司会で、早川会長による挨拶で始まり、来賓の吉村地区ガバナーは「型にハマらない楽しい挨拶をします」との言葉通り楽しい挨拶がありました。その後、2人の入会式があり地区ガバナーより歓迎の詞の贈呈がありました。女性クラブらしい優しい手作り感いっぱいの素敵なチャーターナイトでした。



第2部では、橋本アイカさんの素敵な歌声が披露され会場は大変盛り上がりしました。最後は参加者全員が一つの輪になり、また会う日までを歌い、素敵なチャーターナイトでした。

堺フェニックスLC 結成20周年

6月23日、結成20周年記念事業として堺フェニックスLC主催の「ボッチャ大会 in 堺2019」を開催致しました。

ボッチャとは、東京パラリンピックの正式種目であり、ジャックボールと呼ばれる白い目標球に赤・青のボールをいかに近づけるかを競い合います。障がいのある方、ない方も簡単に楽しむことができるスポーツです。

当日は、老若男女、56の参加チームとボランティアのメンバーを含め総勢300名を超えるボッチャ大会を堺で開催することができました。大会は大いに盛り上がり、障がいのある方も障がいのない方も一緒に楽しんで頂ける素晴らしい記念事業となりました。



和歌山くろしおLC CN10周年

11月3日、和歌山マリーナシティホテルにて和歌山くろしおLCのCN10周年記念式典を執り行いました。

記念アクティビティとして「JR和歌山駅前に時計塔の寄贈」「児童養護施設にフットサルユニフォーム一式寄贈」「和歌山マリーナシティホテルへ

インフォメーションディスプレイの寄贈」「根来寺植樹記念碑建立」「少年サッカーチームへの活動支援金贈呈」等を行ないました。

これからもメンバー同一丸となり素晴らしいアクティビティが出来るよう頑張っ参ります。



地区MC・IT委員が取材する

私のクラブ MY CLUB

取材：地区MC・IT委員 米田 弘樹

INTERVIEW

北摂ローズLC

クラブ会長 田中 三枝子
クラブ幹事 山岡 千賀子
クラブ会計 辻本 典代



◆年末お楽しみ例会

いよいよ年の瀬、12月はフラワーアレンジメントお楽しみ例会です。

メンバーのお花屋さんから材料を調達、まずはクリスマス用に仕上げます。少しお花を取り換えてアクセント飾りを獅子舞に取り替えお正月まで楽しめます。年末年始は大忙し、のんびりと食事の宴はお雑祭りまでお預け、これでクリスマス気分満喫です。

さて、大掃除の際やっぱり古いタオルの雑巾は重宝、集めた古布を老人施設に届けて、エコキャップはリサイクル活動する女子高に寄付、プルトップもまとめて…歳を重ねた女性のネットワークは凄い、学生にも負けません。コツコツと取り組む事業です。ヘアードネーションも始めました。会長のお嬢さんが1年近く髪の毛を伸ばしヘアードネーションをしました。クラブにはL長岡がヘアースalonMARIを経営されており、また業界の理事もされている関係で今後たくさんのヘアードネーションを期待しています。



◆ひな祭り(お花見)例会

当クラブは少人数の女性クラブのため、例会は昼間にティータイム(コーヒーとケーキ)の例会です。年に1、2回は会食をするクリスマス例会や花見例会と盆梅や桜を楽しみに出かけています。

今回は、3月4日の花見例会に京都「ちもと」へお雑様を見て京料理を食し優雅なひと時を過ごしました。帰りは、錦市場に寄り夕食材料を買い家族の待つ家へと!!美味しい食事と楽しい会話で素敵な1日を過ごして来ました。

◆献血アクティビティ

高校の学園祭、大阪大学石橋学舎、年4回と若年層献血に力を入れ献血に対する知識を広めています。今年は献血例会も実施しました。消防署、警察署でも若くて元気な人達に協力してもらい、粗品も場所に合った物を用意して喜んでもらい参加人数も年々増えて来ています。大阪大学では、ドナー登録もお願いしています。



◆CN15周年記念例会

2019年3月11日、千里阪急ホテルに北摂ローズLCCN15周年記念例会が開催されました。

15周年を迎えた我がクラブに5RRC、5R1Z・2ZZCや地区委員の皆様に来て頂き、とても賑やかな例会となり15周年の花を添えて頂きました。

当日は日赤より献血表彰と記念品を頂き、写真はその時のものです。少人数で大変ですが皆元気で頑張っています。



地区MC・IT委員が取材する

私のクラブ MY CLUB

取材：地区MC・IT委員 野村 生代

INTERVIEW

枚方中央LC

クラブ会長 前田 範子
クラブ幹事 尾垣 隆弘
クラブ会計 小倉 武光



◆MY CLUBの自慢

私達のクラブは「ひらパー・岡田准一園長」で知られる枚方パークがある人口40万人の枚方市内にある少人数クラブです。クラブのモットーは**地域に密着した奉仕活動に会員が積極的に参加すること**です。

特に薬物乱用防止教室を立ち上げて今年度は市内小学校6学年を対象に4校の小学校で教室を開催致しました。初めて講習を受けた小学校もあり、児童達は真剣にビデオを観て、話と〇×クイズに熱心に参加してくれました。先生と生徒によるロールプレーでは次から次へと出て来る断り方に教師も生徒も大爆笑致しました。最後は自分を大切に健やかに成長出来る事を願って「薬物乱用はダメ！絶対！」と大きな声で唱和して教室は終わりました。

今後も積極的なメンバーで地域に密着し、**笑って喜んで頂ける奉仕活動をしていく**事を目標にしています。



◆YCE来日生受け入れ

今年度始まって早々、欧州ベルギーからのYCE来日生を受け入れさせて頂きました。クラブのメンバーが少ない事もあり、ホストファミリーは2カ所編成で受け入れを致しました。

午前午後と過密なスケジュールに大阪、京都、奈良、姫路、枚方市内と名所を巡ってある時は日本食に堪能しメンバー全員が積極的に対応致しました。日常の会話はたどたどしい英語でしたが、ベルギー、ドイツ、フランス語が主なので理解に時間がかかって物足りない思いをされたかなと感じました。例会では自分の住む国と歴史、産業等についてのプレゼンをして頂きました。

1ヵ月程でしたが留学生の受け入れによってクラブメンバーの結束がより強くなった事に感謝致しました。



◆新春走ろう会

枚方市では、毎年成人の日に新春走ろう会を河川敷で行っています。ハーフマラソンが最高距離で、成人の日にちなみ新成人が、短い距離ではありますが参加しています。晴れ着姿で颯爽(?)と走る姿は素敵です。枚方中央LCは、賛同し応援しています。

その他…枚方市合同アクティビティは、平和ポスター作品展、ライオンズクエストワークショップ、合同清掃(2回)等

少人数クラブではありますが、**"We Serve!"** を精一杯実行していきます。



◆我がクラブのアクティビティ

年3回献血奉仕を行っています。

*高校文化祭にて

母親に励まされ、初めて献血に挑戦された学生は、無事献血を終え、笑顔で母親に駆け寄って行きました。

*大学キャンパスにて

注射が怖いといいなながらも友達と一緒に献血に協力してくれた男子学生。若い方々の献血がもっともっと増えてほしいと思います。

*樟葉駅前にて

好天に恵まれ、たくさんの方が登録して頂き、用意した記念品が足りなくなるほどでした。地震被害県への支援も兼ねて記念品は、熊本県産のお米です。



地区MC・IT委員が取材する

私のクラブ MY CLUB

取材：地区MC・IT委員 半田 佳弘

INTERVIEW

堺フェニックスLC

クラブ会長 河中 一朗
クラブ幹事 東 幹人
クラブ会計 石井 恵子



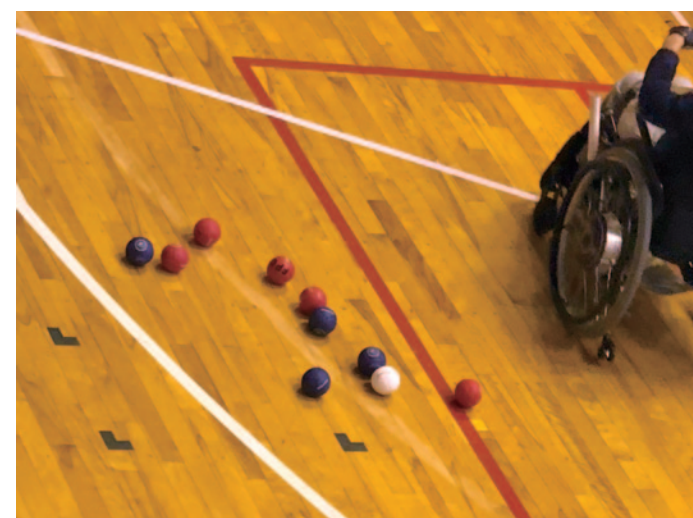
堺フェニックスLCは1999年3月23日、堺泉北LCの指導のもと女性クラブとしてスタートし2015年には、男性会員が加入し、男女混成クラブとして歩みを進め、今期で20周年を迎えることとなりました。**女性ならではの視点と、若さを強みに、青少年育成、地域活性化、福祉支援と様々なアクティビティを行なって参りました。**

20周年を迎えるにあたり、「心響き合う未来へ 全力で!」というスローガンのもと、人と人とのつながりを大切に20周年への感謝の気持ちをみんなで共有し、そこから新しい活動へと全力で活動をすすめてきました。



この度の20周年記念アクティビティは、福祉支援アクティビティとして東京パラリンピックの正式種目でもあります「ボッチャ」大会を実施致します。

スポーツを通しての障害のない人と障害のある人がお互いを理解することで、立場を超えた差別のない社会の実現の一助になればと考えています。



7R2Z合同貧血予防啓発の献血アクティビティ 2019年4月9日 於帝塚山学院大学泉ヶ丘キャンパス

今期、堺フェニックスLCから選出の川邊ZCが、吉村地区ガバナーの方針「社会イメージの再形成と知名度の向上」を实践する、7R2Z合同アクティビティを実施しました。

これは従来までの献血奉仕ではなく、貧血予防の鉄分補給の食育レシピを配布するなど、啓発活動を組み込んだ、持続的な献血母集団の蘇生を図る試みです。

この食育レシピ作成・監修には、地元の帝塚山学院大学人間科学部福田教授以下、趣旨に賛同頂いた有志の研究生が多く参加頂きました。この奉仕活動は同大学のキャンパススカラシップも受賞され、私たちライオンズクラブと地元の大学が手を取り合って地域貢献を目指すものとして、奉仕受益者の顔が見え、その喜びの数を増やす大きなきっかけとなりました。

今回は2回目のアクティビティで、帝塚山学院大学様の全面的なご協力のもと、キャンパス内で初めての献血を実施するだけでなく、実際に鉄分補給レシピのランチメニューもライオンズメンバーや採血者に提供頂き、また学生のみならずにも献血参加頂く楽しいイベントとなりました。

これまでの街頭献血奉仕活動は違った、「女性の、女性による、女性のための奉仕活動」と名付けた全く新しい貧血予防を啓発するアクティビティは、これからも2Z合同の継続事業として続けていきたいと考えています。

(文責：堺FLC MC・IT委員長 大塚 一夫)



メニュー。美味しいと評判でした。

左は待合でアンケート記入と医師による食育相談が行われた会場。多くの学生さんに参加頂きました。

地区MC・IT委員が取材する

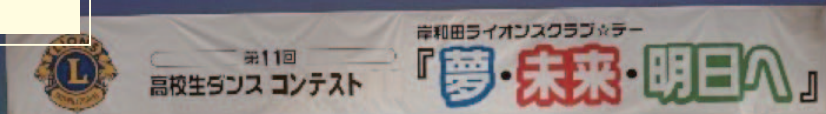
私のクラブ MY CLUB

取材：地区MC・IT委員 米川 敏明

INTERVIEW

岸和田LC

クラブ会長 藤田 嘉宣
クラブ幹事 加藤 光伸
クラブ会計 池内 政勝



岸和田ライオンズクラブ☆デー『高校生ダンスコンテスト』夢・未来・明日へ 開会式

岸和田ライオンズクラブ☆デー

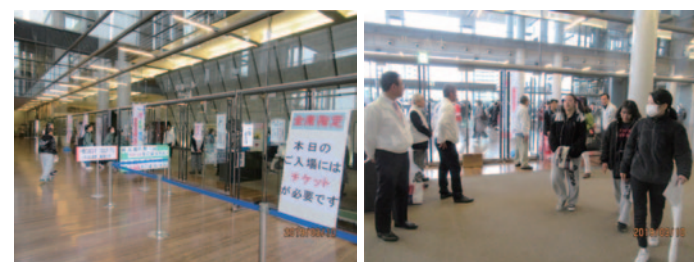
◆『高校生ダンスコンテスト』夢・未来・明日へ

当クラブが一番誇るアクティビティは、青少年育成事業として今年で11回目になる、岸和田ライオンズクラブ☆デー『高校生ダンスコンテスト～夢・未来・明日へ～』です。

第1回目は2009年3月14日、岸和田浪切ホールの小ホールから4校参加のスタートでした。当初は、深夜路上でダンスする若者を見て「発表する場を与えれば彼らの環境も変わるのではないか」というメンバーの思いで、クラブ全員が取り組む事業になりました。

第2回目からは浪切ホールの大ホールに代わるほど参加校も増えました。

第3回目は2011年3月12日、東日本大震災の翌日の開催日、当日はボランティアの生徒がダンボールで募金箱を作り、入口に立ってくれました。それは今でも続いています。



▲開場風景

昨年、10回目は3月11日でした。東北より仙台城南高校をお呼びし、ダンスを通じて交流を図って頂きました。

今年、11回目を3月11日に開催。今や高校生が中心となり、司会・進行・審査など積極的に運営してくれています。これからの未来を担う高校生が、この大会を通じて色々なことを経験、体験したことを今後の力にしてくれると確信しています。浪切ホールから全国大会へ、多くのチームが出場されることを願って、第1回から実行委員長を務めてくれたL小倉正恒のもと少人数のメンバーですがこのアクティビティを続けて行きたいと思えます。



ビッグ優勝：登美丘高校



スモール優勝：上宮高校



表彰式

このアクティビティを行なって良かったことは、学生達の変化です。昔はダンスをしている子は良く見られなく、事実礼儀がなくなかったり、言葉使いが雑だったりでしたが、この大会が始まってから参加する生徒たちの挨拶が変わってきました。ダンスが上手になるのは素晴らしいのですが、我々が一番嬉しいのは元気な挨拶なのです。学生たちに背中を押されるように続けてきたダンスコンテストですが、満員の会場から伝わるパワー・絆・思いやり・礼儀、そこから生まれる感動、これらを大切に継続していきたいと思っています。

最後に岸和田市、岸和田市教育委員会、大阪府、大阪府教育委員会の後援を頂いたことも大きな力になっています。

PR情報・IT委員長 榎野行男

8Rからは岸和田ライオンズクラブをご紹介します!!

岸和田ライオンズクラブの主な活動報告

1. 岸和田ライオンズクラブ☆デー『高校生ダンスコンテスト』夢・未来・明日へ
2. 岸和田図書館での講演事業
3. 献血奉仕活動



満員の座席



岸和田ライオンズクラブメンバー



▲トロフィーと盾

◀コンテスト終了後 優勝チームと記念撮影

INTERVIEW

和歌山くろしおLC

クラブ会長 高木 通昌
クラブ幹事 川上 敏明
クラブ会計 横山 浩一

地区MC・IT委員が取材する

私のクラブ MY CLUB

取材：地区MC・IT委員 松本 隆雄



高木会長：和歌山くろしおLCの設立は今から10年前に元ライオンズマンが新しい発想のクラブを設立したいと発起され、岩出LCのスポンサーのもと、若手を中心に若年層に奉仕するクラブを目指して設立しました。
9Rでは一番新しいクラブですが平均年齢も若く、行動的で他クラブにないアクティビティにいち早く取り組んでいます。



松本：和歌山くろしおLCは2018年11月3日にCN10周年を迎えられましたね。

高木会長：10年続けてこれたことに感謝致します。途中、多数のメンバーの退会もありましたが新メンバーを勧誘し、まずは10年続けることを目指しました。特に、チャーターメンバーにおいては感慨深いものです。CN10周年により、やっと他クラブの皆様の仲間入りが出来たと考えています。

松本：どのような記念アクティビティを実施されましたか？

高木会長：CN10周年記念アクティビティとして、和歌山駅前に時計台の設置、児童養護施設へフットサルユニフォーム寄贈、ホテルへインフォメーションディスプレイ寄贈、岩出LCとの合同植樹、フットボールクラブへ寄贈、県下新入生児童に「きしゅう君」の下敷き作成贈呈を行ないました。

◆和歌山くろしおLCの雰囲気、自慢

「若手メンバーが多く、ライオンズクラブの本質を理解出来ないかもしれませんが、何でも言い合える雰囲気は最高です。まずは、メンバーみんなが楽しくなければ奉仕はできません。それが出来るクラブであり続けたいと思います。」

◆クラブの方針

「メンバーが楽しく交流できる事を第1に考えています。例会出席、アクティビティへの参加も楽しく出来る事を目指しています。新しいアクティビティとしては、「子ども食堂」を取り入れたいと考えています。」



◆主なアクティビティ

1. 若年層の奉仕活動

「今一番力を入れている事業は若年層を対象とした奉仕活動です。特に、若年層の献血活動では、継続アクティビティとして若年層献血を県下でいち早く取り組み、今年も市内高校11校を対象として実施し**4年連続で年次大会の最優秀賞受賞**しました。その他少年サッカー大会開催、年2回の市内小学校での薬物乱用防止教室の開催、児童養護施設児童とのボーリング交流等の活動を行っています。」

2. ヘルプマーク

11月13日ヘルプマーク普及啓発活動をJR和歌山駅で行ないました。ヘルプマークとは援助や配慮を必要としている(妊婦、人工関節、内部傷がい、難病、精神障がい、知的障がい等)方々が周囲に知らせ援助を得やすくするためのマークです。



最後に…当クラブはこれからも**若手メンバーをドンドン増やしていきたい**と考えています。

ただ、仕事の事もありますので無理はできませんが、**お互いに補え合えるクラブでありたい**と思います。

地区MC・IT委員が取材する

私のクラブ MY CLUB

取材：地区MC・IT委員 出羽 勝治

INTERVIEW

富田川LC

クラブ会長 田中 邦臣
クラブ幹事 栗栖 万博
クラブ会計 深見 宗孝



今年は3月2日の8時より上富田スポーツセンター球場にて第17回富田川ライオンズクラブ旗争奪、少年野球(新人戦)大会を開催しました。富田川町長を始め、多くの来賓の方々を迎え、富田川LCの会員も、全員出席し盛大に開会式が挙行されました。入場行進には、会員が先導役を務め、24組の入場があり、行進には(元気な行進賞)もあります。1週間の間、元気な姿と、一生懸命野球に取り組む姿を見せて頂きました。

閉会式は3月9日の14時より鹿島台野球場でありました。当日、11時から決勝戦が行われ、優勝クラブに金メダル、準優勝クラブに銀メダルが会長から授与されました。

今後も富田川LCは、この事業を続けていきたいと考えています。



富田川LCは1981年6月21日に結成され、今年で38周年です。地域に寄り添うアクティビティを実施しており、特に青少年育成事業に取り組んでいます。今回、青少年育成事業の1つである少年野球大会をご紹介します。



地区MC・IT委員が取材する

私のクラブ MY CLUB

取材：地区MC・IT委員 森 弘樹

INTERVIEW

東大阪東LC

クラブ会長 中道 俊樹
クラブ幹事 堤 一博
クラブ会計 黒田 訓司



当クラブでは本年度、献血奉仕活動をはじめ、岡山県真備町災害支援ボランティア、西日本豪雨災害支援募金活動、恩智川クリーンリバープロジェクト、東大阪バリアフリーマラソン、東大阪グリーンフェスタ、交通安全啓発事業、薬物乱用防止講習会、東大阪市民ふれあい祭りパレード参加、LIONSCLUBCUP 2019、ライオンズ祭りなどのアクティビティを行いました。

また、例会では他クラブよりたくさんの例会訪問を迎え入れることができ、楽しく有意義な例会が増えました。当クラブからもゾーンを超えてたくさんの例会訪問させて頂き、他クラブの長所を取り入れて当クラブに反映し、更に楽しく効率的なクラブ運営をしていこうと思います。

来年度はアスク1をもっと発信し、メンバーを増やしてさらに新しいアクティビティにも取り組んでいきたいです。



地区MC・IT委員が取材する

私のクラブ MY CLUB

取材：地区MC・IT委員 北辻 幾身

INTERVIEW

羽曳野LC

クラブ会長	濱屋 雅之
クラブ幹事	阪谷 匡亮
クラブ会計	飯阪 昌史



◆クリーン大作戦

3月3日には母なる河「石川」の自然を守るクリーン大作戦に参加して、環境保全活動を行ないました。雨天のため、中止が危ぶまれましたが、決行を信じてたくさんのメンバーに来て頂きましたので、雨もあがり目一杯アクティビティができました。

◆令和元年初のはびきの市民フェスティバル

協力クラブ：南大阪みささぎLC

会長	三谷 富士美
幹事	竹井 智子
会計	谷口 史子



2019(令和元)年5月5日、はびきの市民フェスティバルにおいて、羽曳野LCで南大阪みささぎLC阪志学台レオクラブの協力により、体力測定と献血奉仕活動、バザーなど盛りだくさんに行いました。お天気にも恵まれいつも以上に大盛況のため、長蛇の列が後を絶ちませんでした。

また、献血活動では献血受付数203名に対して184名の方に採血頂き、体力測定は320名の方に体験して頂いて、自己診断結果に一喜一憂しながらも綺麗なお花のプレゼントに大喜びされていました！

南大阪みささぎLCは献血の食パン提供だけでなく災害に備えて防犯グッズを一つ500円にて販売し、売り上げは全て子ども食堂へお渡しする予定です。

他にも、羽曳野LCと南大阪みささぎLCは合同で様々なアクティビティを行なっております。今後も地域のために続けていきたいと思っております。



1R3Z・大阪新大阪LC

防犯奉仕活動

5月21日、JR大阪駅アトリウム広場において実施された「女性の犯罪被害防止」キャンペーンに参加致しました。

このキャンペーンに伴い、大阪府曾根崎警察署に協力して、「ストーカーによる被害防止」を呼びかけるDVDを、映像制作などを学ぶ社会人スクールに依頼し、

生徒4人が2ヵ月をかけ作成しました。被害に遭っている人が映像を見たことで相談しようと思わせるきっかけになってほしいとの思いで作成に参加してくれました。DVDの映像は30秒ほどで、ストーカーの手口を紹介、警察などへの相談を呼びかける内容で、会場にある大型ビジョンで公開しました。映像は今後、大阪市内の駅などにある大型ビジョンで流されます。キャンペーンの最後には防犯啓発チラシや物品を通行人に配布し、被害防止を呼びかけました。

当クラブでは犯罪防止の一助になればと願い、防犯活動に取り組んでいます。



3R1Z・大阪中部LC・大阪プラムLC合同
メタボリックシンドローム
啓発と予防

11月4日、大阪中部LC、大阪プラムLCが西区土佐公園で行なわれた西区民まつり「文化のつどい」で合同事業《メタボリックシンドローム》の啓発と予防を実施

しました。当日は、300人以上が検診にお越しになり、糖尿病予防とライオンズクラブのPRができました。



4R合同

大和川しじみ稚貝の放流と
河岸・川床の清掃

5月19日、4R合同「第18回大和川しじみ稚貝の放流と河岸・川床の清掃」を行ないました。今回で18回を迎えるこのアクティビティは大阪すみのえLCがホストクラブで会場設営から進行までお世話頂きました。司会は中田環境保全・アラート

委員で、尾崎4R1ZZCより開会の挨拶、続いてキャビネット委員で大和川再生委員会事務局長でもあるL板谷より清掃の説明がありました。

その後、参加者全員が川原に降りて清掃を行ない、住吉漁業協同組合より提供を受けたしじみの稚貝を大和幼稚園の児童達が、川原に保護者の方々と共に降りて、環境保全委員長の北野英治も園児に混じって稚貝の放流を行っていました。



4R2Z合同

障がいと共に絵を描く会

4月28日、大阪市長居障がい者スポーツセンターにて4R2Z合同アクティビティ「障がいと共に絵を描く会」が開催されました。今回で54回目となる絵を描く会は32名の参加者数で、大阪府肢体不

自由者協会、理事長 動井忠男様、画材の提供・お手伝いして頂く全日本画材協議会委員である岩内ロークロード忠男様に挨拶を頂き、参加者の皆さんは画材を持って、天候にめぐまれた長居公園で自由に筆を走らせていました。

午後3時から泉北術ボランティアグループ代表の福井満先生の論評を頂き、入賞作品が選ばれました。この作品は1年間、当センターに展示されます。



4R2Z・大阪帝塚山LC

第6回帝塚山LC
チャリティー寄席

4月6日、大阪帝塚山LCは住吉大社吉祥殿 須磨の間にて今回で6回になる帝塚山チャリティー寄席を開催しました。

今回は「子ども食堂スマイル遠里小野」へのアクティビティ事業として開催されました。

嶋谷会長の開会の挨拶に続いて、子ども食堂すまいる遠里小野の近江三奈子様への目録贈呈が行なわれました。その後、笑福亭一門の嘶家さんの話しに会場は笑いに包まれていました。

第6回 帝塚山チャリティー寄席



5R2Z合同

岡山県倉敷市真備町
布団乾燥奉仕活動

335-B地区は地区ガバナー方針「ライオンズは3.11を忘れない」のもと、一丸となって2018年7月に発生した西日本豪雨の被災者支援活動を行なっております。5R2Zは真備町の被災者に何ができるかと思いを巡らし、復興を待つ日々は長く非日常的な生活を余儀なくされている被災者に寄り添った生活支援活動を行なうことにしました。

2月23日、私たちはクラブの垣根を越えて、真備町の仮設住宅を伺い、吹田LCの東日本大震災復興支援活動での経験と実績のある「布団乾燥奉仕」を実施しました。仮設住宅のご家庭からたくさんのお布団を出して頂き、被災者に「ひとときのやすらぎ」を提供できたのではないかと感じております。また、大阪ものの「豚まんとシューマイ」をお土産に持参し、被災者にお召し上がり頂きました。

5R2Zは合同アクティビティを行なうことにより、各クラブ会員の交流と奉仕の気持を共有することができました。私たちは、これからも被災者に寄り添った

復興支援を続けて参ります。この活動にご参加頂いた倉敷の各ライオンズクラブの皆様、5R2Zの会員の皆様に厚くお礼申し上げます。



5R2Z・箕面船場LC

糖尿病予防セミナー
in箕面

3月12日、箕面市立病院「いろはホール」にて、国際本部が推奨する奉仕の5大フレームワークの1つである「糖尿病」を取り上げるべく、市民を対象とした箕面船場LC主催の「糖尿病予防セミナーin箕面」を開催しました。

当日、会場にはブルーライトリースを飾り岸本会長より参加者105名を前にライオンズクラブの活動についてのPRとご来場への謝辞を述べたのち、大阪大学

大学院薬学研究科教授 上島悦子教授にご講演を頂きました。中でも、薬学の観点から投薬について具体的に専門的に説明され、予備軍と言われる方々にも、既に罹患されている方にも大変参考になる内容でした。

上半期に青少年健全育成を目的に「南極の魅力とロマン」講演会(市内在学・在住の小学生対象)を実施した経験が、チラシの製作段階から会場設営や会場誘導等に活かされ、スムーズに実行出来ました。次期は結成40周年を迎える。この経験を活かしメンバー一同、記念となる奉仕事業に向けて更に邁進する覚悟である。

尚、箕面市、箕面市医師会、箕面市歯科医師会、箕面市薬剤師会、大阪糖尿病協会、日本赤十字社大阪府支部、箕面市赤十字奉仕団、箕面市献血推進協議会のご後援を頂き開催出来ました事に感謝申し上げます。



6R合同

まるごとわかる
糖尿病セミナー

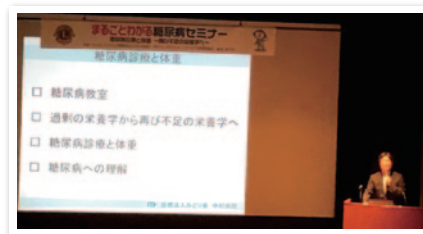
5月9日、枚方市立メセナひらかた会館にて「6R合同 まるごとわかる糖尿病セミナー」が枚方市後援で開催されました。

一般の方々にも多く参加して頂き、みんなで糖尿病について学びました。講師は、医療法人みどり会中村病院の高橋輝院長

でパワーポイントを使って、①糖尿病教室、②過剰の栄養学から再び不足の栄養学へ、③糖尿病診療と体重、④糖尿病への理解の順に詳細に話されました。

強調されたのは、筋肉の重要性でした。運動での消費カロリーは少ないが、運動した方が認知症になりにくい。筋肉維持だけでも!糖尿病は「生活習慣病」とは決めつけず、様々な要因があるので、受療促進をおこない、治療への理解促進も行なっていかなければなりません。一生付き

合う病気なので、明るく前向きに!」「貯金」も大切ですが、「貯筋」も重要です、と締めくくられました。最後に枚方市長の挨拶もありました。



6R1Z 高槻LC

高槻シティ
ハーフマラソン大会

3月26日、関西の中心都市”高槻にある高槻市立陸上競技場を舞台とする「第27回高槻シティハーフマラソン大会」が開催されました。

生涯スポーツ社会の実現を目指し、今回は大阪府北部地震災害復興支援・30年7月豪雨災害復興支援をテーマにしています。高槻LCが立ち上げた経緯もあり、27回目の協賛金拠出と「アクティビティ資金獲得事業」として、物品販売も併せて開催しました。

小雨の中、第27回高槻シティハーフマラソン大会がランナー8800名の参加で開催されました。



高槻市中学校吹奏楽
第28回「アンサンブル
フェスティバル」開催

4月24日、高槻LCは高槻現代劇場にて高槻市中学校吹奏楽第28回「アンサンブルフェスティバル」を開催しました。

このフェスティバルは高槻市内の公立中学校18校中、全校の生徒たちが参加して、吹奏楽の基本パートのアンサンブルで毎年開催されています。

子どもたちが音楽を通じて社会参加の意識を高め、自分も他人も大切にすることで、有意義な子ども時代を過ごし、やがては社会、地域に貢献する社会人として成長することを目的に開催されています。

第1回の演奏会は1990年に開催され、歴史のある演奏会です。

高槻LCは青少年の健全育成と、地域に貢献出来る事業として、子どもたちにより一層の励みと参加意欲を高めることを目的にアンサンブルフェスティバルを開催しています。

茨木市内小学新入生
ランドセル贈呈事業

2月13日、茨木LCは1981年から今年で39年間、毎年2月の第1例会に於いて市内3カ所の児童養護施設の新小学生児童全員を対象にランドセルの贈呈を行なっております。

この事業は物品提供の奉仕だけでなく、奉仕の指針は親から子へまた、祖父母から孫への成長を祝う、子どもを愛する気持ちの奉仕として今後も継続して行きます。



6R1Z 茨木LC

里山整備活動
奉仕事業について

4月24日、茨木LCは里山整備活動奉仕事業を行ないました。我がまち、茨木は総面積の約38%が山間部です。まちづくりを考える上で自然環境を愛する気持ちは不可欠であり、地域奉仕と青少年健全育成の観点から里山の整備事業を親子参加型で行い、作業後には茨木LCメンバーと共にBBQ等でふれあいの場としております。



6R2Z 守口LC

ライオンズクエスト・
ライフスキル教育
プログラムセミナー

12月3日、守口LCは守口市立寺方南小学校に於いて、当クラブのアクティビティ事業として初めての「ライオンズクエスト・ライフスキル教育プログラムセミナー」を開催致しました。

今期に入り早々に守口市教育委員会への打診、検討、小学校との打合せ等を

兼ねて参りました結果、開催の運びとなり当クラブメンバーである松本地区LCIF・ライオンズクエスト委員長（ライオンズクエスト・ライフスキル教育プログラム説明員）が講師のもと、小学校教職員29名、他クラブより4名、当クラブメンバー14名の参加を頂き、放課後の限られた時間ではありましたが和やかな空気の中、教職員の方々も講師より与えられた課題、事例発表など積極的に取り組んで頂き、実りあるセミナーであったと喜ばしく実感しております。

開催に際し、ご協力頂きました皆様へ

感謝申し上げますとともに、このようなセミナーが益々充実していくことを切に願い、今後も更なる奉仕活動を地域へ発信して参りたいと思っております。



7R2Z 堺登美丘LC

「特別講座 小児がん患者と家族」
「若年層啓発献血アクティビティ」

10月25日、大阪府立大学羽曳野キャンパスにて「特別講座 小児がん患者と家族」と「若年層啓発献血アクティビティ」を開催しました。特別講座には講師光武 綾様をお迎えし、テーマ「愛してるよカズ」で講演頂きました。

特別講座は、大阪府立大学地域保健学域看護学類 家族支援看護学母性Iの講義内で実施しました。准教授の佐保美奈子先生のご理解とご協力で、子どもさんを小児がんで亡くされた光武 綾さんのお話を、医療を目指した将来親にな

る学生達に講義として行うことが出来ました。光武さんは、子どもさんの治療中の様子や家族に思いを当時の記録映像を見ながら自分の言葉で話して下さいました。会場の学生達は真剣な眼差しの中に涙もありました。小児がんの中でも特に白血病は、献血の有難みが大きい、輸血を受けたときは一時的でも元気を取り戻し、子どもらしい笑顔になってくれるというお話しでした。

キャンパスでは終日献血活動を行いました。学生（若年層）の中には、献血をしたことがない方が多くおられました。今回の献血記念品は「スイーツブレッドとびばこパン」と「USBメモリー」を用意しました。まずは献血を怖がらずに説明を聞いて一歩を踏み出すことが大切です。

アクティビティ例会とし多くのメンバーが出動、丁寧に献血への理解を呼びかけました。結果は60名以上の採血、100名以上の受付・登録でした。継続に値する事業だと実感しました。



9R2Z 伊都高野山LC・下津LC合同
「世界遺産黒河道」
清掃奉仕

3月24日、伊都高野山LC（ホストクラブ）と下津LC合同で世界遺産に登録された高野山参詣道の1つである黒河道の清掃奉仕を行いました。

高野山へ登る黒河道を上から下へと、各自がゴミ袋を手に向かいましたが、人工的なゴミはほぼ無く、足を取られる木枝や倒木を取り除く作業が主でした。昨年の台風による倒木が多く、動かすことが出来たのはほんの一部で、自然の力の前に無力さをしみじみ実感しました。道に迷いながら険しい山道を登り降りすることになりましたが、美味しい空気を胸いっぱい吸い込み、春を告げる練習をするウグイスの声を聴きながら木漏れ

日の中にちらつく雪を眺めたり、シカやイノシシなどの営みの形跡に驚かされつものなんと作業を終えることができました。霊宝高野山の山道を下る工程で、自然への畏怖と道を拓く先人への尊敬の念、そして最後に清流と奇岩の美しい玉川峡に出迎えられる感動、歩き通せた満足感で胸がいっぱいになりました。

昨年に続き、2度目のアクティビティでしたが、清掃はもちろんのこと、素晴らしい遺産を未来へと継承していくことがより大切なことではないかと思うに至りました。自らが訪れ、知り、より多くの人たちに伝えていくそういった奉仕が出来たことに喜びを感じ、ライオンズの一員として携わることが出来たことを誇りに思います。

両クラブの皆さまお疲れ様でした。335-B地区の皆さまもぜひ一度「世界遺産黒河道」を訪れてみて下さい。



9R2Z 海南LC

和歌山県立和歌山ろう学校
創立100周年記念式典表彰



11月18日、和歌山県民文化会館大ホールで、和歌山県立和歌山ろう学校創立100周年記念式典にて参加者約700~800名の中で海南LCが表彰されました。



和歌山ろう学校には、当クラブメンバー 齊藤匡人が入会后10年来 補聴器等の寄贈、また海南LC CN50周年記念アクティビティとして大型ディスプレイ・大型プロジェクタースクリーン等の寄贈を行なって参りました。

こうした地道なアクティビティの結果、地区ガバナー方針である受益効果がある奉仕活動であると認識しました。